

北海道医療ソーシャルワーカー協会会員の皆さま

いつも大変お世話になっております。

このたび教育部より新規事業であります「2022年度調査研究・実践報告会」のご案内をさせていただきます。申し込みは **peatix** を使用します。フライヤーを含めて、下記アドレスからご確認ください。

* **peatix** のアドレス : <https://peatix.com/event/3450305>

■調査研究・実践報告会について

北海道医療ソーシャルワーカー協会教育部では、広く専門性を発揮できる人材の育成を担っております。みなさまご承知の通り、ソーシャルワークは実践のみならず、調査研究やそれらの発表や報告もまたその一環です。当協会では学会を開催し、そこで様々な研究報告や実践報告をいただいておりますが、特に初任期や経験年数の少ない方にとっては学会発表は敷居が高い、経験がないから不安などの声が少なくありません。そこで、研究や実践報告の経験が少ない方にもご発表・ご報告いただく機会を設け、自身の取り組みを広く伝えていただき、発表経験を積んでいただく機会にするとともに、参加者の方からも様々なご意見をいただき成長の機会としていただくこと、そして当協会全体として研究活動に取り組む人材を見守り、育てていくことを目的に『調査研究・実践報告会』を開催することといたしました。

広くご発表、ご意見をいただき、皆で研究発表や後進の育成について考えていく機会にしたいと思しますので、是非ご参加ください。

■内容

①講義：「実践報告ははじめの一步～実践と現実・理論の統合をめざして～」

講師：医療法人社団北匠会 小樽中央病院 石田 潔 氏

実践報告者：浮き雲在宅クリニック 小柄 華奈江 氏

今回は、会員の皆様がもっと調査研究を身近に感じ、積極的に取り組む事ができるきっかけになればとの期待から、日々の実践を振り返り、考察し、まとめ（報告）に至る『もっとも身近な研究』とも言える実践報告に焦点を当てることといたしました。

そこで、例年中央 E 支部において新入会者研究グループによる研究活動が行われておりますが、その取り組みにおいて調査研究の意義などの講義を担われている小樽中央病院の石田氏に、実践報告とはどのように行っていけばいいのか、また日々の実践を事例研究や実践報告として振り返ることの意義についてもご講義いただきます。

さらに、ただ研究を行うのではなく、行った研究をスタディーズ投稿など論文にまとめたり、学会や研修会等での報告を行うという次の重要なステップも踏まえ、第 65 回道学会にて学会発表をされた浮き雲在宅クリニックの小柄氏に、実践報告へ取り組まれたきっかけ、抄録やスライドの作成など苦勞した点や達成感なども加えて報告いただきます。

研究に取り組みたいけれどどのように取り組んでいったらいいのかわからない、どこから始めたらいいのかわからない方は勿論、後進の育成に日々ご尽力されている方まで、研究活動について学び、考える機会になることを期待しておりますので、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

②演題発表：5 演題程度を予定 〈発表 7 分 質疑 8 分〉

本報告会では演題発表は入会 10 年未満または発表未経験の方に限らせていただきます。なお、共同研究者はその限りではありません。

※演題募集については別紙をご参照ください

■日 程

令和 5 年 1 月 14 日（土） 13:30～17:00（オンライン開催）

■参加費 無料

■申し込み

令和 4 年 12 月 21 日～令和 5 年 1 月 11 日 17 : 00 まで peatix より申し込み願います

■そ の 他

・ ZOOM

- ・ 演題数によって、発表や質疑応答、講演、閉会時間などを変更させていただく場合がございます。
- ・ 認定医療ソーシャルワーカー履修ポイントを、4 ポイント申請予定です。

■お問い合わせ（メールの方）

北海道医療ソーシャルワーカー協会 教育部 小倉睦美

E-mail アドレス : ogura.msw@gmail.com

■お問い合わせ（電話の方）

社会医療法人 母恋 天使病院 沖 隆一（北海道医療ソーシャルワーカー協会 教育部長）

TEL : 011-711-0101（代表）